

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム喜楽

目標達成計画

作成日: 令和2年3月6日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	業務マニュアル(タイムテーブル)作成し使用しているが、明確な役割分担、指導の統一が成されていない部分がある。	基礎となるケアを統一し、全職員が把握しサービス提供できるようになる。	・3M(ムリ、ムラ、ムダ)を無くす仕組みづくり ・業務内容の見直し ・業務マニュアルの再構築	12ヶ月
2	33	重度化や終末期におけるケアについて、未経験の職員もあり、不安を抱えている現状がある。	ご本人、ご家族の意向に沿って、終末期におけるケアを提供できるようになる。	・看取り研修の実施 ・医療機関との連携 ・ご本人、ご家族との意思確認	6ヶ月
3	35	毎月、火災想定(昼間)の避難訓練を実施しているが、夜間想定や水害、停電等の訓練は実施できていない。	起こりうる災害に対して、全職員が対応できるようになる。	・夜間火災想定避難訓練の実施 ・水害訓練の実施または計画 ・懐中電灯等、備品の確認	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。